

教員採用試験に 備えて

R9年度を考える

鳴門教育大学大学院 学校教育研究科
客員教授 阪根 健 二

R9 香川県教員採用試験

1 選考試験日程

区 分		令和9年度（令和8年度実施）日程	令和8年度（令和7年度実施）日程
出願期間		5月1日(金)～ 5月28日(木)17:00まで	5月1日(木)～ 5月28日(水)17:00まで
第1次 選考 試験	筆記試験等	7月18日(土)～7月19日(日)	7月19日(土)～7月20日(日)
	面接試験	7月18日(土)、7月20日(月・祝) 7月21日(火)、7月25日(土)	7月19日(土)、7月21日(月・祝) 7月22日(火)、7月25日(金)
	合格者発表	8月上旬（予定）	8月5日（火）
第2次 選考 試験	面接試験等	8月19日(水)～8月23日(日)、 8月25日（火）	8月16日(土)～8月24日(日)
	合格者発表	9月中旬（予定）	9月12日（金）

※校種別の日程は大綱に記載のとおり

【秋募集】

区 分	令和9年度（令和8年度実施）日程	令和8年度（令和7年度実施）日程
出願期間	9月1日（火）～10月20日（火）	9月1日（月）～10月20日（月）
選考試験	東京会場 10月31日（土） 大阪会場 11月 1日（日） 香川会場 11月 3日（火・祝）	東京会場 11月 1日（土） 大阪会場 11月 2日（日） 香川会場 11月 3日（月・祝）
合格発表	11月中旬（予定）	11月中旬 [11月**日(*)]

R9 香川県教員採用試験

2 昨年度の大綱からの変更点

(1) 第1次選考試験（筆記試験等）を大阪会場においても実施

第1次選考試験における筆記試験等（19日実施）について、小学校専願者を対象にして、香川会場に加えて大阪会場においても受験を可能とする。

(2) 一般選考の受験可能年齢の引き上げ

一般選考の受験可能年齢を特別選考Ⅰ～Ⅴに合わせて、昭和40年4月2日以後に生まれた者に引き上げる。

(3) 「特別選考Ⅰ⑤」の講師等の勤務実績の見直し

本県の国公立の小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校の講師等として通算24か月以上の勤務実績がある者としていたところを、通算24か月以上から通算13か月以上に緩和する。

(4) 教職大学院生を対象とした「特別選考Ⅰ⑧」を拡充

高等学校又は特別支援学校の教諭を志願する者のうち、国内の教職大学院を修了した者又は令和9年3月31日までに修了見込みの者を対象に、第1次選考における総合教養を免除する。

R9 香川県教員採用試験

ア 第1次選考試験 筆記試験等 7月18日(土)、7月19日(日)
 面接試験 7月18日(土)、7月20日(月・祝)、
 7月21日(火)、7月25日(土)
 のうち、指定された1日
 合格者発表 8月上旬(予定)

	18日(土)	19日(日)	20日(月・祝)	21日(火)	25日(土)
小学校		●(※大阪)	面接	面接	面接(大阪)
中学校		●	面接	面接	面接(大阪)
高等学校		●	面接	面接	
特別支援学校	● 面接	●			
養護教諭		●	面接	面接	
栄養教諭		●	面接	面接	

●筆記試験・実技試験・適性検査の実施日 ※小学校専願者のみ、大阪会場の受験可

イ 第2次選考試験 面接試験等 8月19日(水)～8月23日(日)、8月25日(火)
 のうち、指定された1日
 合格者発表 9月上旬(予定)

	19日(水)	20日(木)	21日(金)	22日(土)	23日(日)	25日(火)
小学校	面接	面接	面接	面接	面接(大阪)	
中学校	面接	面接	面接	面接	面接(大阪)	
高等学校		面接	面接	面接	面接	面接
特別支援学校		面接	面接	面接	面接	面接
養護教諭	面接	面接	面接	面接		
栄養教諭	面接	面接	面接	面接		

R9 香川県教員採用試験

- (5) 特別選考Ⅳ（大学等から推薦を受けた者を対象、第1次選考試験のすべてを免除）
- ア 小学校又は中学校教諭を志願する者のうち、小学校又は中学校一種（専修）普通免許状取得のための課程認定を受けており、通信制の課程によらない大学、大学院又は教職大学院に在籍^{※5}し、推薦条件^{※6}を満たし、学長等が推薦する者
- ※5 令和9年3月に大学卒業見込み又は大学院修了見込みであること。
- ※6 詳細は、令和8年4月下旬公表予定の「令和9年度香川県公立学校教員採用選考試験大学等推薦特別選考実施要項」において発表する。
- イ (1)一般選考のア①に示す要件を満たす者
- ウ 昭和40年4月2日以後に生まれた者
- (6) 特別選考Ⅴ（前年度第1次選考試験に合格した本県講師等を対象、第1次選考試験のすべてを免除）
- ア 小学校又は中学校教諭を志願する者のうち、令和8年度（令和7年度実施）香川県公立学校教員採用選考試験において、第1次選考試験に合格した者（ただし、前年度と同一校種、教科を受験する者）
- イ 令和8年度、本県の国公立の小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校で講師等^{※7}として勤務^{※8}する者
- ※7 任期付職員若しくは臨時的任用職員として勤務している講師、養護助教諭、学校栄養職員又は会計年度任用職員（週30時間以上）として勤務している者をいう。
- ※8 令和8年4月1日から令和8年5月28日までの間に、勤務実績（任用予定を含む）がある者をいう。
- ウ (1)一般選考のア①に示す要件を満たす者
- エ 昭和40年4月2日以後に生まれた者

R9 香川県教員採用試験

4 併願

次のア、イの場合に限って、併願することができる。

ア 小学校と中学校の併願（特別選考Ⅲ・Ⅳを除く。）

（ただし、一般選考と特別選考Ⅳの併願は可）

イ 養護教諭の小学校・中学校と養護教諭の高等学校・特別支援学校の併願

5 試験内容等

(1) 試験内容等

	試験内容等		備考
第1次 選考 試験	筆記試験	総合教養（60分）	
		専門教養（75分）	小学校及び特別支援学校小学部志願者
		専門教養（60分） 英語志願者はリスニングテストを含む	小学校及び特別支援学校小学部志願者を除く
		特別支援教育に関する専門教養（40分）	特別支援学校志願者
	実技試験	中学校及び高等学校のうち指定する 教科・科目等	中学校及び特別支援学校中学部並びに 高等学校及び特別支援学校高等部の うち指定する教科・科目等志願者
	適性検査		検査は1種類
	面接試験	集団面接	
第2次 選考 試験	模擬授業	学級経営・教科に関するもの	
	面接試験	個人面接	
		英語による面接	英語志願者

(2) 第1次選考試験の免除

ア 特別選考Ⅰで出願をする者については、総合教養を免除する。

イ 特別選考Ⅲ・Ⅳ・Ⅴで出願する者については、すべてを免除する。

令和8年度香川県公立学校教員等採用選考試験 実施結果

令和8年4月1日

校種等	教科・科目等	出願者数	受験者数	合格者数 ※4	倍率	採用者数 ※5
小学校	7月・8月実施 ※1	343	311	130	2.4倍	116
	秋募集	16	15	9	1.7倍	8
中学校 ※1	国語	45	40	17		16
	秋募集	1	1	1		0
	社会	69	63	10		10
	秋募集	2	2	0		0
	数学	39	34	19		17
	秋募集	1	1	1		1
	理科	27	21	9		8
	音楽	27	24	7		7
	秋募集	1	1	0		0
	美術	5	5	4		4
	保健体育	47	40	11		10
	秋募集	5	5	1		1
	技術	5	5	4		2
	家庭	8	8	6		4
	英語	36	29	15		15
	秋募集	2	2	2		2
	小計	308	269	102	2.6倍	93
秋募集小計	12	12	5	2.4倍	4	
養護教諭 ※2	小学校・中学校	82	77	6	12.8倍	6
	高校・特支	79	75	2	37.5倍	2
栄養教諭		23	20	1	20.0倍	1

1次から2次

(1) 第1次選考試験の合格者数は、採用予定数の概ね2倍程度とする。

(2) 一般選考の受験者の総合成績を基準として、筆記試験の一部を免除された者の総合成績と比較した上で、第1次選考試験の合格者を決定する。

(3) ただし、筆記試験又は面接試験において、著しく低い成績の場合は不合格となること
ある。

R9 徳島県教員採用試験

校種等及び職種		教科等	採用予定数 【(注)1参照】
小学校教諭		国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語	177名程度
中学校教諭			
高等学校教諭		国語、地理歴史、公民、数学、理科(物理、化学、生物、地学) 【(注)2参照】、保健体育、音楽、美術、書道 【2(注)2参照】、英語、家庭、情報、農業、商業、工業(機械、電気、建築、土木、工業デザイン、工業化学) 【(注)2参照】、看護、福祉	90名程度
特別支援 学校教諭 【2(注)3参照】	小学部	視覚障がい領域、聴覚障がい領域、知的障がい・肢体不自由・病弱領域	
	中・高等部	視覚障がい領域、聴覚障がい領域、知的障がい・肢体不自由・病弱領域	
		医療的ケア(自立活動)担当 【2(注)4参照】	
養護教諭		小学校・中学校	2名程度
		高等学校・特別支援学校	1名程度
身体に障がいのある者を対象とした選考		すべての校種等及び職種並びに教科等	5名程度

R9 徳島県教員採用試験

選考の種類		選考審査内容	第1次審査				第2次審査	
			教職教養	専門審査	論文審査	実技審査(注)	模擬授業	個人面接
	一般選考		○	○	○	○	○	○
特別選考	①ア 社会人を対象にした選考		○	○	免除	○	○	○
	①イ 特別免許状授与を前提とした社会人選考		○	○	免除	○	○	○
	②ア 本県での教職経験を有する者を対象とした選考		免除	免除	免除	免除	○	○
	②イ 本県での教職経験を有する者を対象とした選考		○	○	免除	○	○	○
	②ウ 現職教員を対象とした選考		免除	免除	免除	免除	○	○
	③ア スポーツ特別選考（国際大会日本代表等）		免除	免除	免除	免除	○	○
	③イ スポーツ特別選考（全国大会入賞等）		○	○	免除	○	○	○
	④ 臨時教員に係る特別選考		○	○	免除	○	○	○
	⑤ 大学・大学院推薦による特別選考		○	○	免除	○	○	○
	⑥ 英語特別選考		免除	免除	免除	免除	○	○
	⑦ア 令和6年度から令和8年度の選考審査結果による選考		免除	免除	免除	免除	○	○
	⑦イ 令和6年度から令和8年度の選考審査結果による選考		免除	免除	免除	免除	○	○
	⑦ウ 令和8年度の選考審査結果による選考		○	○	免除	○	○	○

R9 徳島県教員採用試験

	大学3年生等を対象とした選考	○	○	○	○	/	/
	前年度実施の大学3年生等を対象とした選考を通過した者を対象とした選考	免除	免除	免除	免除	○	○
	採用候補者名簿（B）に登載された者を対象とした選考	免除	免除	免除	免除	○	○
	身体に障がいのある者を対象とした選考	一般選考及び特別選考に準じる					

（注）中学校教諭・高等学校教諭「音楽」「美術」「保健体育」及び高等学校教諭「書道」において実施する。

3 併願

(1) 中学校教諭「英語」に出願する者のうち、小学校教諭の免許状を有する者は、小学校教諭を併願することができる。

(3) 大学3年生等を対象とした選考

① 大学3年生等を対象とした選考

昭和41年4月2日以降に生まれた者であって、出願する校種等及び職種並びに教科等に相当する教育職員免許法に規定する普通免許状を有する者又は令和10年3月31日までに取得見込の者。

○「大学3年生等」とは、大学、大学院等の最終年次の1年前の年次の大学生または大学院生等とする。

※第1次審査の全て（専門・教職教養、論文及び実技審査）を受審し、一定基準を満たした者は、令和10年度（令和9年度実施）の選考審査における第1次審査の全てを免除する。ただし、「大学3年生等を対象とした選考」と同一の校種・教科、職種での志願に限る。

「大学3年生等を対象とした選考」を受審した者が、「令和10年度（令和9年度実施）の徳島県公立学校教員採用候補者選考審査」における他の選考を受審することは妨げない。

② 前年度実施の大学3年生等を対象とした選考を通過した者を対象とした選考

令和9年度（令和8年度実施）の選考審査における第1次審査の全てを免除する。ただし、前年度に受審した校種・教科、職種での志願に限る。

R9 徳島県教員採用試験

令和9年度教員採用候補者選考審査の変更点

1. 小学校教諭の第2次審査における模擬授業の教科変更

・小学校教諭の第2次審査における模擬授業の教科については、これまでの外国語科（英語）での実施を取りやめ、算数で実施します。

2. 大学・大学院推薦による特別選考の内容拡充

・普通免許状取得の課程認定を受けている大学・大学院の各学部単位で、推薦の対象となる各校種等（教科・科目）につき1名推薦できるものとします。（これまでと変更ありません。）

・大学・大学院からの推薦を受けた者は、第1次審査の一部免除に加え、第1次審査の総合点に10点加点します。

令和9年度教員採用候補者選考審査の実施日程

1. 申込受付期間 **5月7日(木)～5月25日(月)**
2. 第1次審査(筆記審査) **7月18日(土)**
3. 第1次審査(実技審査) **7月19日(日)**
4. 第1次審査結果発表 **8月3日(月)**
5. 第2次審査(模擬授業・個人面接) **8月16日(日)～8月24日(月)**
6. 審査結果通知 **9月16日(水)**

R9 徳島県教員採用試験

選考 区分 時間	<p>一般選考受審者 「大学3年生等を対象とした選考」受審者</p> <p>※中「英語」受審者のうち小学校教諭併願者 ※高校教諭受審者のうち高「情報」併願者</p>	特別選考受審者
		①②イ③イ④⑤ ⑦ウ
8:30～ 9:00	【受付】 各審査会場	<p>※左記の一般選考・「大学3年生等を対象とした選考」受審者の筆記審査（専門・教職教養）までの日程と同じ</p>
9:00～	【諸注意等】	
9:20～ 11:00	<p>【筆記審査（専門・教職教養）】100分間</p> <p>※教科等の専門的知識や教育公務員として必要な教養等について審査</p> <p>※中「英語」受審者の小学校教諭併願者は小学校（専門）を受審</p> <p>※高校教諭受審者の高「情報」併願者は出願する教科（専門）を受審</p>	
11:30～ 12:50	<p>【論文審査】80分間</p> <p>※教育公務員としての意欲・資質・能力について審査</p>	
13:40～ ～15:00 (英語) ～15:20 (情報)	<p>(中・高「英語」、高「情報」受審者) (「大学3年生等を対象とした選考」中・高「英語」、高「情報」受審者)</p> <p>【筆記審査（専門・教職教養）】 (中・高「英語」80分間、高「情報」100分間)</p> <p>※教科等の専門的知識や教育公務員として必要な教養等について審査</p>	<p>【筆記審査(専門・教職教養)】 (中・高「英語」、高「情報」受審者、「大学3年生等を対象とした選考」中・高「英語」、高「情報」受審者)</p>

R9 徳島県教員採用試験

(1)実施日について

令和8年7月18日（土）（筆記審査）、7月19日（日）（実技審査）

（参考）令和8年度（7年度実施）徳島県公立学校教員採用候補者選考審査 第1次審査実施日

令和7年7月19日（土）（筆記審査）、7月20日（日）（実技審査）

(2) 配点

実施内容		一般選考		特別選考		
		大学3年生等を対象とした選考		①②イ④⑤⑦ウ		③イ
		実技審査のある 校種・教科等	実技審査のない 校種・教科等	実技審査のある 校種・教科等	実技審査のない 校種・教科等	保体(中・高)
筆記審査	教職教養	50点	50点	50点	50点	50点
	専門	200点	350点	250点	450点	150点
実技審査		150点	/	200点	/	300点
論文審査		100点	100点	/	/	/
一次審査合計		500点				

R9 徳島県教員採用試験

9 第2次審査

(※第1次審査に合格した者(「大学3年生等を対象とした選考」受審者を除く)、及び第1次審査を免除された者について実施。)

(1) 日程・実施内容・会場等

月 日	時 間	実 施 内 容 ・ 会 場 等
8月16日(日) ～ 8月24日(月)	9:00～18:00	<p>【模擬授業】 ※別に指定する日時に行う。 (小・中・高・特支養護教諭、特別支援学校教諭(医療的ケア(自立活動)担当)受審者は場面指導を行う。)</p> <p>【個人面接審査】※模擬授業に引き続き行う。</p> <p>○鳴門教育大学附属小学校(徳島市南前川町1-1) 小学校教諭、中学校教諭、小・中養護教諭</p> <p>○徳島県立総合教育センター(板野郡板野町犬伏字東谷1-7) 高等学校教諭、特別支援学校教諭、高・特支養護教諭</p>

- (注) 1 小学校教諭の模擬授業は、「算数」で実施する。
2 高等学校教諭「書道」の模擬授業は、「書道」について実施する。
3 受付終了時刻(徳島県教育委員会教職員課HPに掲載する日程による)に20分以上遅刻した者は受審を認めない。

(2) 配点

実 施 内 容	全 校 種 ・ 職 種
面 接 模擬授業・場面指導	450点

個人面接が重視される (7割を占める)

第2次選考試験

1 選考の基準

小学校、中学校、養護教諭、栄養教諭

高等学校(特別支援学校高等部を含む。)、特別支援学校小学部・中学部・高等部

総合成績 = 模擬授業 (20点) + **個人面接 (50点)** (+英語による面接) (15点)

英語受験者 (85点満点)
英語以外の (70点満点) 受験者

面接委員(4名)がそれぞれ5段階(5点~1点)で評価を行い、それらの合計点とする。

【第1面接】
面接委員(4名)がそれぞれ5段階(5点~1点)で評価を行い、それらの合計点とする。
【第2面接】
面接委員(3名)がそれぞれ5段階(5点~1点)で評価を行い、それらの合計点の2倍とする。

面接委員(3名)がそれぞれ5段階(5点~1点)で評価を行い、それらの合計点とする。

※ 特支中の英語及び特支高の英語受験者については、模擬授業、個人面接、英語による面接の合計点を70/85にしたものを総合成績とする。

令和9年度 和歌山県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項

和歌山県教育委員会

令和9年度和歌山県公立学校教員採用候補者選考試験を次のとおり実施します。

和歌山県として求める教員像

- 和歌山の未来を前向きに考えようとする人
- 教員としての使命感や誇りをもち、学習指導に高い専門性を発揮しようとする人
- 豊かな人間性と社会性をもち、こどもの目線で多様な学びの実現や支援に取り組もうとする人

本年度の主な変更点等について

- ◎一次試験における、適性検査を廃止します。
- ◎高等学校及び中高共通の教員について、書道の教員免許状の所持に関する加点制度を新設します。
- ◎司書教諭資格所持に関する加点制度を新設します。
- ◎講師経験による免除について、免除要件を一部変更します。
- ◎特別選考において、「グローバル人材」区分を新設します。

出願から合格発表までの流れ

① 電子申請による出願

令和8年 4月30日(木)午後5時30分まで

② 各出願関係書類等の提出

令和8年 5月 1日(金)消印有効

③ 受験票の交付

令和8年 6月 2日(火)

※電子申請時の登録メールアドレスあて送付予定

④ 第一次選考試験

令和8年 6月13日(土)

⑤ 第一次選考試験合格発表

令和8年 7月17日(金)午前10時以降

⑥ 第二次選考試験

令和8年 7月30日(木) 集団討論

7月31日(金) 実技

以下の日程中、指定する日 個人面接

8月 4日(火)

8月 5日(水)

8月 6日(木)

8月 7日(金)

⑦ 第二次選考試験合格発表

令和8年 9月15日(火)午前10時以降

【33】あなたが和歌山県の教員を志望する理由を記入してください。(200字以内)

【34】自己PRを記入してください。(資格、特技、国際貢献活動、ボランティア活動など)
(200字以内)

自己PRについては、次の(1)～(7)のうち、特にアピールしたいことを全て又は選択し、事実のみを簡潔に入力してください。面接では、入力事項をもとに質問します。

- (1) 「資格」は、教員免許状以外の資格等(例：英語の技能検定、情報処理技術者、理学療法士、一級建築士、司書教諭、介護福祉士、社会教育主事等)を入力してください。
- (2) 「特技」は、中学校から大学までの部活動歴及び教科・特別活動等において生かせると思うものを入力してください。
- (3) 「国際貢献活動」は、青年海外協力隊等、海外における活動歴(実績・年数等)を入力してください。
- (4) 「ボランティア活動」は、ボランティア活動等の分野に関する活動歴(実績・年数等)を入力してください。
- (5) 「各種大会等の実績」は、スポーツ、文化活動における大会等での主な成績を入力してください。
- (6) 講師経験がある場合は、経験年数及び講師経験に基づく実績についてアピールを入力してください。
- (7) 小学校にあつては中学校又は高等学校英語の教員免許状の所持状況、中学校及び高等学校にあつては受験教科以外の教科(特に実技教科)の教員免許状の所持状況、小学校及び中学校にあつては特別支援教育に係る教員免許状の所持状況についても入力してください。

【35】自己PRにつながる顕著な経歴の名称

【36】自己PRにつながる顕著な経歴の年数

【37】今まで最も困難と感じた課題や状況と、それをいかに乗り越え、結果として何を得たのか記入してください。(200字以内)

選考区分		日程	試験会場
第一次選考試験	一般選考 を 対象 とし た 選 考 者 の あ る 人	免除なし	令和8年6月13日(土) 12:00～12:20 受付 12:30～12:50 諸連絡 13:00～14:00 校種・教科専門 14:15～15:15 総合教養
		免除1 免除2 免除4	令和8年6月13日(土) 12:00～12:20 受付 12:30～12:50 諸連絡 13:00～14:00 校種・教科専門
		免除3	令和8年6月13日(土) 13:15～13:35 受付 13:45～14:05 諸連絡 14:15～15:15 総合教養
	特別選考	特別選考A 特別選考B 現職教諭等	令和8年6月13日(土) 12:00～12:20 受付 12:30～12:50 諸連絡 13:00～14:00 校種・教科専門
		特別選考C 県内元教諭等 社会人経験 博士号	令和8年6月13日(土) 13:15～13:35 受付 13:45～14:05 諸連絡 14:15～ 個人面接
		グローバル人材	令和8年6月13日(土) 12:00～12:20 受付 12:30～12:50 諸連絡 13:00～ 指導案作成

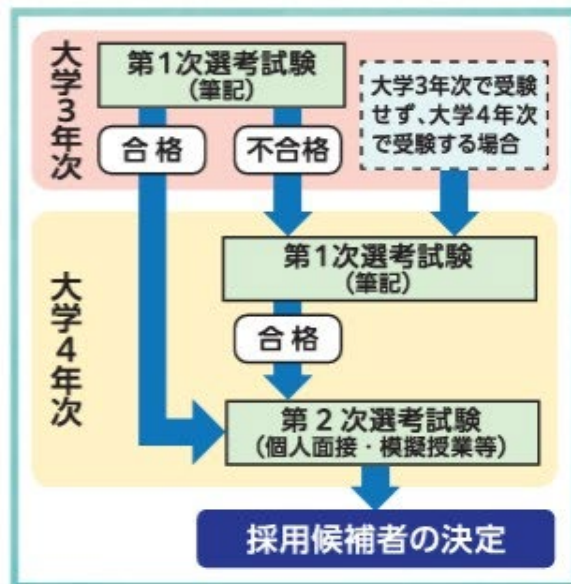
令和9年度 広島県・広島市公立学校教員採用候補者選考試験

1 point/ 大学3年生等チャレンジ受験
 小・中・高・特支・養護教諭を対象に実施します。対象者は1次試験(筆記試験)を受験し、合格した場合、次年度は2次試験からの受験となります。

2 point/ 社会人を対象とした特別選考
 民間企業などにおいて、受験する教科に関する勤務経験がある方のための特別選考です。1次試験は個人面接のみ。教員免許なしで受験できます!
 対象: 中学校教諭(技術・家庭(技術)、外国語(英語)) **New**
 高等学校教諭(外国語(英語)、農業、工業、看護、福祉)

3 point/ 大学等推薦特別選考 **New**
 大学、大学院(教職大学院含む)から推薦された方を対象とした特別選考です。
 対象: 中学校教諭(国語、理科、技術・家庭(技術)、外国語(英語))
 高等学校教諭(工業)

4 point/ 加点制度
 英語の資格、特別支援学校教諭普通免許状を所有(見込みを含む)する方を対象として、1次試験(筆記試験)に加点します。(別途手続きが必要です。対象ではない選考区分・校種・教科等があります。)



ポイント①～④の詳細は4月上旬公表予定の実施要項に記載しますので、ご確認ください。

選考試験日程

受付期間	令和8年 4月 6日(月)～5月 7日(木)	
1次試験	令和8年 7月11日(土)・7月12日(日)	
2次試験	令和8年 8月18日(火)～8月20日(木)	
現職教員を対象とした特別選考・ グローバル人材を対象とした特別選考【教職経験者】	令和8年 8月22日(土)	
最終合格発表	令和8年 9月25日(金)	

選考試験説明会

期間 令和8年4月4日(土)～25日(土)

会場 県内5会場、県外12会場

採用試験に関する情報や、広島県と広島市それぞれの教育施策、先輩教員からのメッセージ、待遇や休暇制度など、ここから聞ける内容が満載です。多くの方のご参加をお待ちしています!

※日程や会場の詳細は、下記の広島県教育委員会又は広島市教育委員会のホームページをご覧ください。

1 求められる教職員像

広島県・広島市では、それぞれ「求められる教職員像」を明らかにし、教職員の人材育成に取り組むとともに、これを踏まえて自らの資質・能力を高めていくことのできる教員を求めています。

広島県「求められる教職員像」

- 高い倫理観と豊かな人間性をもっている
- 子供に対する教育的愛情と教育に対する使命感をもっている
- 専門性を発揮し、的確に職務を遂行できる
- 社会や子供の変化に柔軟に対応できる
- 確かな授業力を身に付けている
- 豊かなコミュニケーション能力を有している
- 新たなものに積極的に挑戦する意欲をもっている
- 他の教職員と連携・協働し、組織的に職務を遂行できる

【広島県が特に求める資質・能力】

- 問題に直面した時点で集められる情報や知識を入手し、自ら深く考え、それを統合して新しい答えを創り出す力
- アイデア・情報・知識の交換や共有、アイデアの深化や答えの再吟味のために他者と協働・協調できる力
- 協動的・創造的な問題解決のために、どのような分野においても学び続ける力

広島市「求められる教職員像」

《使命感や責任感・教育的愛情》

- 教職に対する強い責任感を有している。

《専門職としての高度な知識・技能》

- 自主的に学び続ける力がある。
- 深い教育的愛情を有している。
- 確かな専門的知識を有している。
- 確実に実践できる力がある。
- 新たな学びの実践的指導力をもっている。

《総合的な人間力》

- 豊かな人間性や社会性を有している。
- 高いコミュニケーション能力がある。
- チームで対応できる力がある。
- 地域や社会の多様な組織等と連携・協働できる力がある。

【広島市が特に求める資質・能力】 広島市のこどもたちに以下の資質・能力を育成する力

- 情報を適切に活用しながら、本質や根源を探究し、課題解決に向けて論理的・主体的に考え行動する力
- 平和を希求する心
- 互いの違いや多様性を理解・尊重し、共生・協働する力
- 豊かなコミュニケーション能力
- 自分たちのまちを愛する心

面接のポイント 印象が重要だが…

- ①自分の意見をまとめる力
- ②意見は100字程度でまとめる。
- ③1分間のスピーチの原稿を作成する際は、**300文字**を目安
- ④自分の意見には裏付けがある。何を聞かれても（つっこまれても）回答できるか。

面接のポイント

面接のコツは、相手に“**伝わる**”話し方をする事

つまり、何を伝えるかがポイント

何を聞かれているかを意識して

「より豊かな伝え手」になるには、まず、様々な経験を積むこと、それをどう蓄積していくのかが大切である。

また、「伝える」ことは「発信力」、すなわち「存在感」である。また、「100%をいかに維持するか」が重要だが、そう考えると間違っ
てはいけない、よりうまく話さなければなら
ない等の意識が働き、緊張や不安が増長し、
その結果、うまく表現できずに終わってしま
うことが少なくない。

言葉の引き出しを多く持つ

たくさんの知識を得ることも重要であり、これらは実は日常生活の中から学ぶことがほとんどで、そのことを意識して過ごすことが大切である。

例えば、自分の興味のある分野(スポーツ新聞や芸能関係書物でもOK)の記事を口に出して読むことで、より豊富な表現を知り、活用していくことができるようになるといったことです。

声を前に押し出しはっきりとした発音をする意識を高めることも大切であり、声を前に押し出すためには、目線(顔)をできるだけ下に向けず、腹式呼吸を行いながら話すことや、はっきりと発音するためには、まず単語(例えば「学校教育」)を1文字1文字で切って(「が・っ・こ・う・き・ょ・う・い・く」と声に出し、徐々にスピードを上げて1文字1文字をつなげていく練習を行うこと。日々の10分~15分程度でよいので、これらのことを地道に繰り返し行うことで、「話す・伝える」自信につながっていくのです。

「伝える」(プレゼンや面接等で)ときの心構え

- ① 名前から伝える気持ち
- ② 『間』の活用・・・最も伝えたいことの直前, 間をあける(間も言葉の一部)
- ③ 言葉は必ず前に
- ④ 背伸びをしない(うまく表現してやろうという気持ちはいらない)
- ⑤ 何事もポジティブに(笑顔が増える→自他ともにプラス)
- ⑥ 緩急強弱(母音をしっかりと)

面接の定番（300字程度でまとめておくこと）

- ① なぜ教員になろうと思ったのか
- ② 本県の教員をめざした理由を1分以内で話してください
- ③ 本県の教育について、あなたが知っていることを話してください。

演習課題(個人面接)

子どもにとって“魅力ある教員”とはなんであるか。

魅力ある教員を求めて



文部科学省

これからの学校は、子どもたちがよく学びよく遊び、心身ともに健やかに育つことを目指し、高い資質能力を備えた教員が自信を持って指導に当たり、そして保護者や地域も加わって、学校が生き生きと活気ある活動を展開することが求められています。

こうした学校づくりを進めていくためには、子どもたちの教育に直接携わる教員の資質能力の向上を図ることが大切です。(2016年)

教職の魅力

子どもたちの人間形成に深く関われる
子どもたちの成長を実感できる
子どもたちと感動を共有できる
子どもたちや保護者に感謝される
専門分野を活かして仕事ができる
自分自身が成長できる

(<https://manabi.mobi/kyoin/kyoin-yarigai/>)

上記を子供目線で考える